

日時
集合場所

2023年(令和5)6月9日(金)9時45分
JR・新京成線松戸駅東口下車 徒歩8分の松戸中央公園 役員が旗を持ち誘導します

(コース) 松戸中央公園 15分 → 戸定が丘邸庭園散策 50分 → 野菊の墓文学碑・野菊苑 5分 →
矢喰村庚申塚 15分 → じゅん采池緑地(昼食・休憩) → 里見公園(休憩) 25分
京成線国府台駅で流れ解散(13:30分頃)

松戸中央公園の歴史

松戸競馬場 → 旧陸軍工兵学校 → 千葉大学工学部 → 松戸中央公園
M40年～T8年 T8年～S20年 S20年～S39年
旧陸軍工兵学校の正門門柱と旧陸軍工兵学校歩哨
哨舎が残っています。

戸定が丘邸庭園散策

戸定邸は徳川昭武の別邸。明治17年建設。国の重要
指定文化財(平成18年)。和洋折衷式の庭園は、県の
名勝です。公園内には戸定歴史館も併設されています。
(歴史館有料身分証明書が有れば割引有り、)

野菊の墓文学碑

伊藤左千夫の処女小説「野菊の墓」は明治30年代の矢切
地方の牧歌的な風情が描かれています。西蓮寺境内にその
一節を刻んだ文学碑があります。

矢喰村庚申塚

下総の国府台が近くにあったために記録に残る大きな戦いが
七度あったといわれ、二度と再び戦いの来ない平和な日々と
健康を求め先祖の供養のため矢切の渡し口や街道すじに
庚申塚、地蔵様が建てられました。昭和61年には庚申塚の整備とあわせ、
平和としあわせを祈る「安らぎの像」が現在の場所に設置されました。

じゅん采池緑地(市川市)

国府台と国分の台地間に深く入り込んだ古くからの沼があり、
これを国分沼といいましたが、この沼にはじゅん采がたくさん生え
ていたことから、じゅん采池と呼ばれるようになりました。
緑豊かな木々に囲まれ、四季折々の自然が楽しめます。

里見公園(市川市)

春の花見の名所。江戸川の流れを見下ろす高台にあるため、江戸川、東京スカイツリー、富士山等
山々の眺望に優れている。15世紀にこの地に太田道灌が仮陣を置き、弟の太田資忠らが国府台城を
築いた、その後16世紀に里見氏・後北条氏の間で2度にわたる国府台合戦が戦われた。



下見 2023・5・5(金) 晴れ(先頭) 2班(滝沢・原) 3班(柳川・四宮) 1班(加藤・井上)
補助役員: 1班(田中紀子・井上G) 2班(吉田・田中礼子) 3班(岡澤・美濃輪)
船橋市いきいき同窓会「歩こう会」

<ご注意> 自宅で検温して37度未満であることを確認し、参加して下さい。(マスク着用は自由にします)